

平成19年10月 2日
国土交通省東北地方整備局
三 陸 国 道 事 務 所

仙人峠道路開通により

釜石～遠野間移動時の燃費が1～2割向上！！
～通勤者は年間5万円相当交通費削減～

平成19年3月18日に全線開通した 一般国道283号「仙人峠道路」の開通効果について（半年後）

3月18日に開通した「仙人峠道路L=18.4km」の開通による供用半年後の開通効果について、お知らせします。

■通勤利便性の向上について「別紙－1」

- ・釜石～遠野間の移動において、燃費が1～2割向上しております。
- ・通勤一人当たり年間5万円相当の交通費削減が見込まれます。

■地域間交流の促進について「別紙－2」

- ・県内14市町村、隣接3県、関東方面の広範囲で仙人峠を越える交通の増加が見られました。
- ・特に「釜石～遠野」「釜石～盛岡」間の利用交通が大きく増加しました。

■高速バスの利便性向上について「別紙－3」

- ・仙人峠道路開通を機に4月25日より運行開始した夜行バス「大槌・池袋線」により沿岸部の高速バス利便性が向上し、月に約800人が利用しています。

■自動車流通の信頼性向上について「別紙－4」

- ・釜石港への自動車輸送において、仙人峠道路が活用され、安定した輸送が可能になっております。

■仙人峠道路交通量の推移「別紙－5」

- ・GW、お盆期間には1日1万台以上の利用がありました。

発表記者会：岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、東北専門記者会

【お問い合わせ先】

国土交通省東北地方整備局	三陸国道事務所（岩手県宮古市藤の川4－1）
副 所 長 文屋 泰雄	代表0193-71-1711（内線204）
調 査 課 長 田中 誠柳	〃 （内線451）

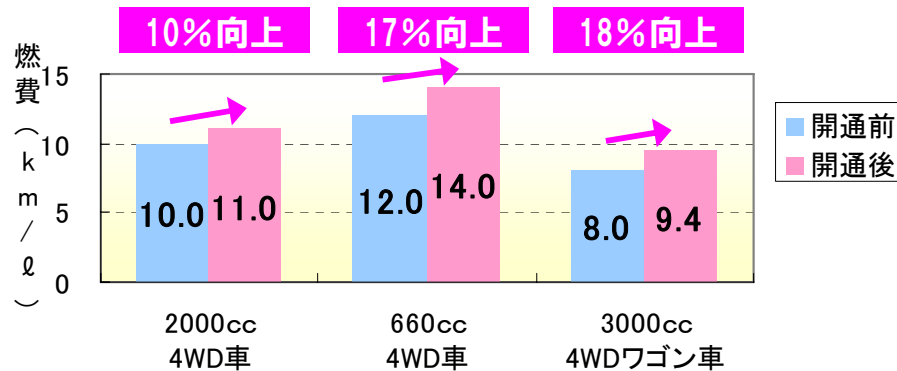
通勤利便性の向上

別紙－1

●釜石～遠野間移動時の燃費が1～2割向上しました

【効果】釜石～遠野間燃費10～18%向上⇒通勤に当てはめると1人当り年間5万円相当削減！

＜SMC(株)の事例＞



※工場間運行車両(10往復/日以上)におけるデータ

▲釜石～遠野工場間運行車両の燃費の変化

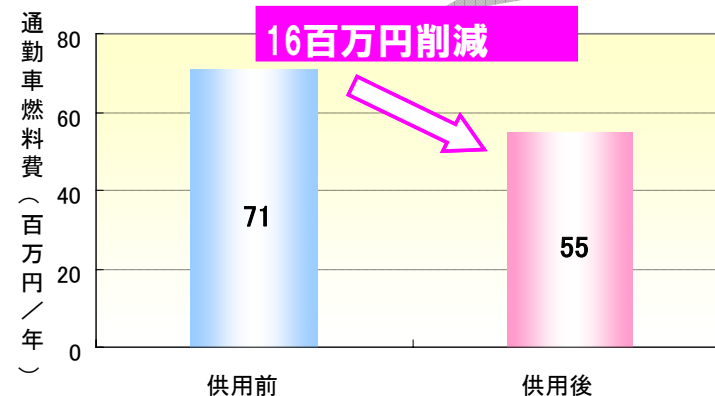
(H19企業FAXアンケート調査・ヒアリング調査より)

釜石・遠野市民の毎日の通勤に当てはめると...

- 釜石～遠野間の通勤者数 402人 (H17国勢調査)
- 釜石市・遠野市の市外への通勤者自動車分担率 74.7% (H12国勢調査)

自動車通勤者数:
300人 = 402人 × 74.7%

1人当り約5万円！



▲釜石～遠野間通勤車両の燃料費の変化(試算)

燃料費(供用前) 34km/10km/l × 140円/l × 2(往復) = 952円/日
燃料費(供用後) 29km/11km/l × 140円/l × 2(往復) = 738円/日
年間燃料費削減量 (952円 - 738円) × 250日(平日) = 5.4万円/年

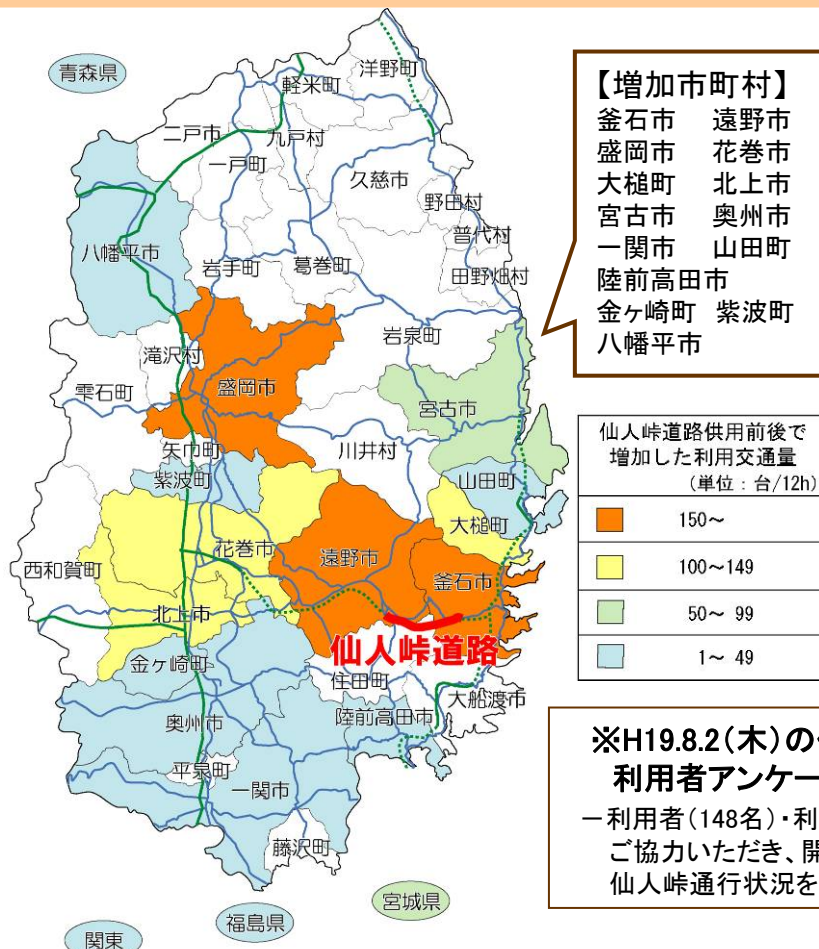
地域間交流の促進

別紙－２

●仙人峠を越える交流が拡大・増加しています（利用者アンケートによる）

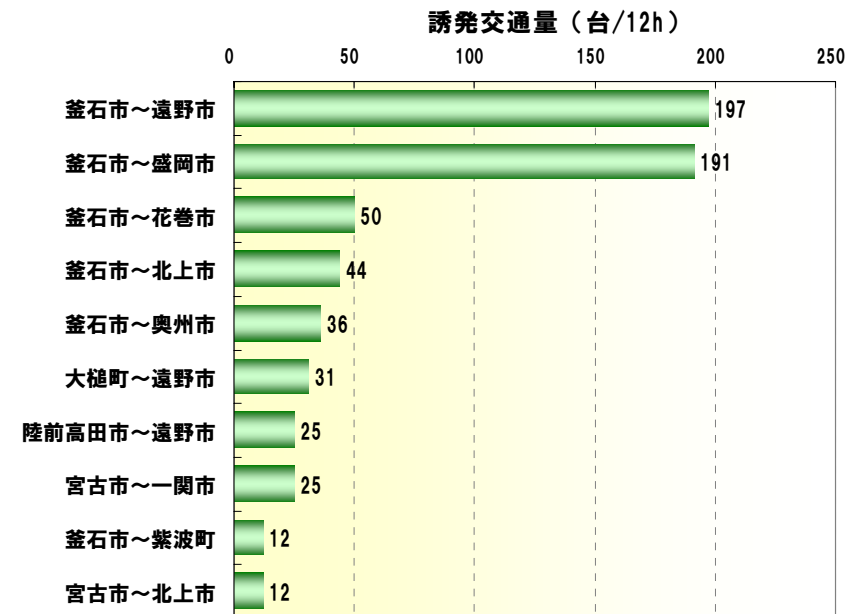
○県内14市町村、隣接3県、遠くは関東方面の広範囲で仙人峠を越える交通の増加が見られました。

○特に釜石～遠野間、釜石～盛岡間の利用増が多く、地域間の交流促進に貢献しています。



※H19.8.2(木)の仙人峠道路利用者アンケート調査より
 一利用者(148名)・利用企業(66社)にご協力いただき、開通前・開通後の仙人峠通行状況をお聞きしました。

▲仙人峠道路供用前後で増加した利用交通量(平日)



《誘発交通量》

仙人峠道路供用後に新たに発生した交通。

- ・供用前にはなかった移動
- ・供用後に利用頻度が増えた分の移動を加算して算出

▲仙人峠道路供用後の誘発交通量(平日)

高速バスの利便性向上

別紙－3

●新たなルートで高速バスのサービスが向上しました

効果

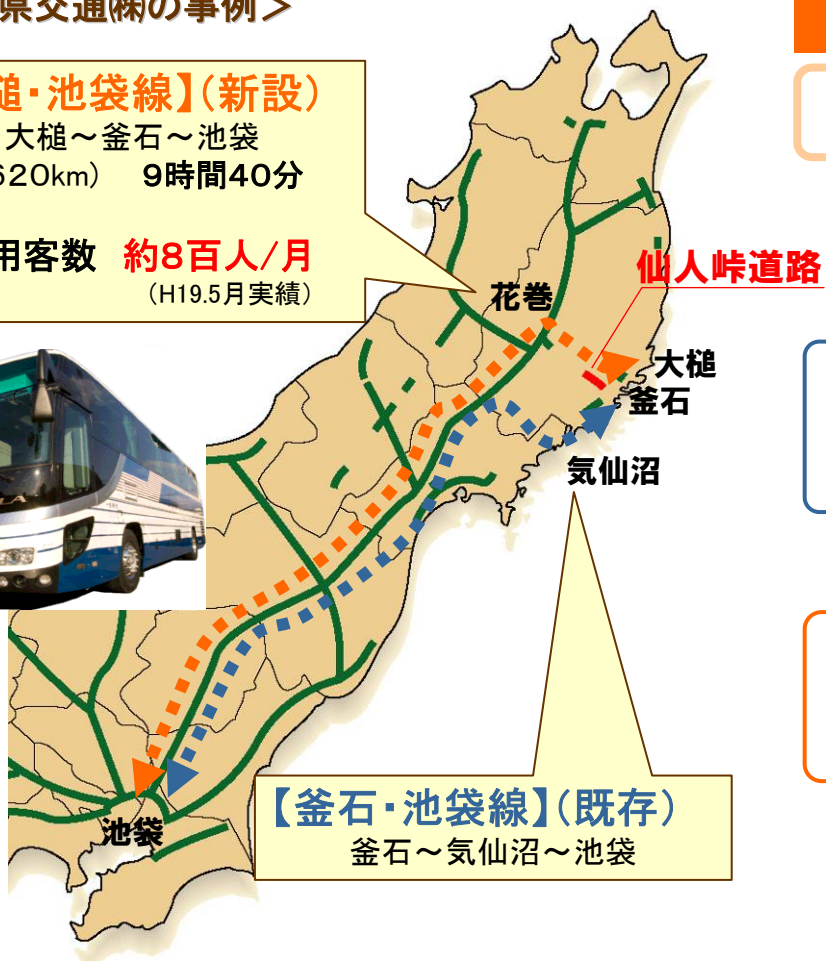
大槌・池袋線の新設で利便性が向上し、約8百人/月が利用！

<岩手県交通(株)の事例>

【大槌・池袋線】(新設)

大槌～釜石～池袋
(約620km) 9時間40分

利用客数 約8百人/月
(H19.5月実績)

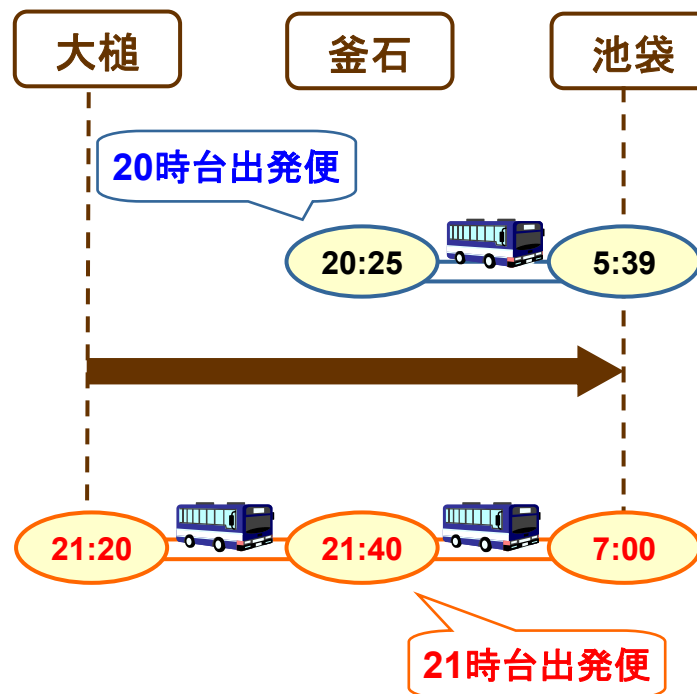


【釜石・池袋線】(既存)

釜石～気仙沼～池袋

利便性向上

◆釜石からは出発時間の選択が可能に



▲大槌～池袋間のバス時刻

(H19企業FAXアンケート調査より)

▲都市間バスルート(釜石・池袋線、大槌・池袋線)

自動車流通の信頼性向上

別紙－４

●自動車の移出・輸出における釜石港ルートの信頼性が向上しました

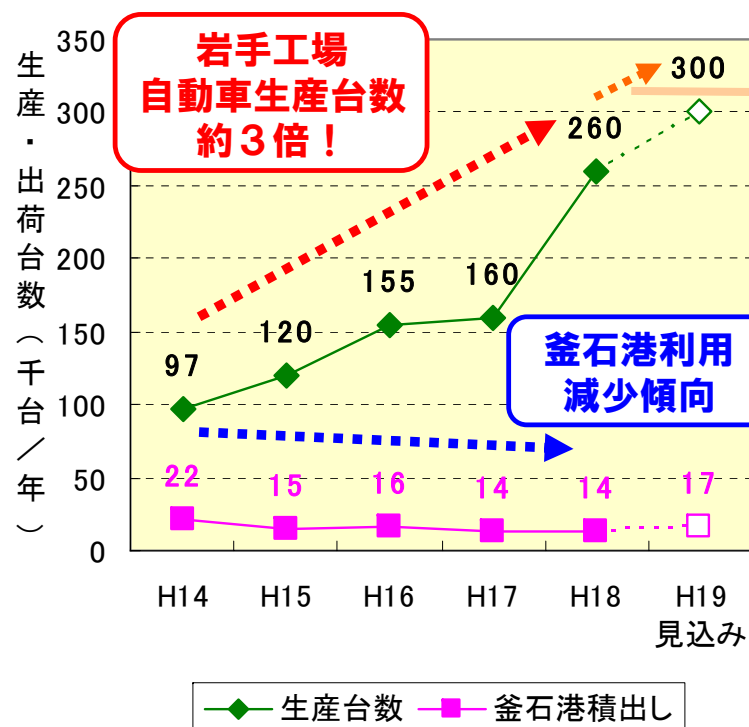
効果

安定した輸送ルートの形成で自動車生産台数の大幅増(約6割)にも対応！

＜トヨタ輸送(株)の事例＞

供用前 釜石港積出し台数は減少傾向

供用後 約6割の大幅生産増にも対応

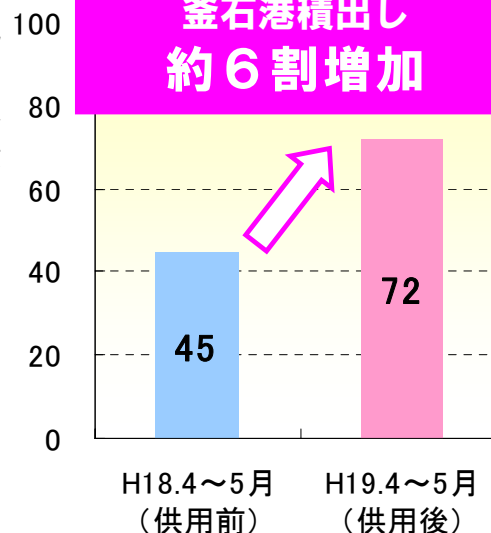


H18.4～5月 ⇒ H19.4～5月
岩手工場生産台数 約6割増加

生産増に対応

釜石港積出し
約6割増加

釜石港積出し (台/日)



- ・仙人峠道路の開通で、以前より安全かつ安定した輸送が可能になった。
- ・特に冬場は、旧道とあわせ2路線あるというのが大きなメリットになる。

(トヨタ輸送(株)ヒアリングより)

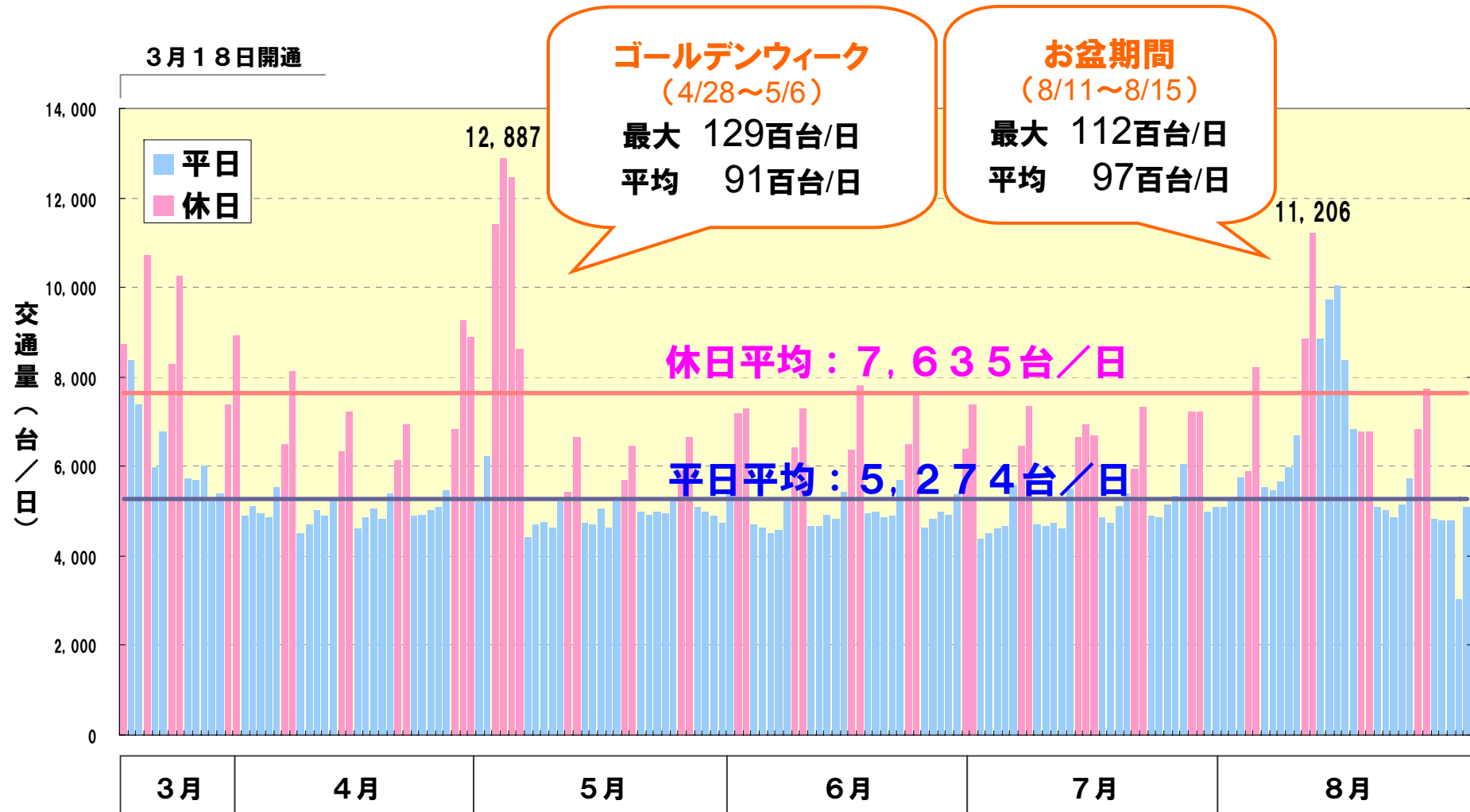
▲関東自動車工業(株)岩手工場での
自動車生産台数・釜石港出荷台数の推移

(H19企業FAXアンケート調査より)

▲釜石港積出し台数の変化(4～5月平均)

(H19企業FAXアンケート調査・ヒアリング調査より)

●GW・お盆期間には**1日1万台**以上の利用がありました



▲仙人峠道路交通量の推移(H19.3.18開通日～H19.8.31)

(三陸国道事務所資料)